

令和 2 年松本市議会 1 2 月定例会
市長閉会あいさつ

[2.12.17(木)AM10:00]

発言の機会をいただきましたので、閉会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には、18日間の会期中、熱心にご審議を賜り、来年4月1日の中核市移行に向けた関係条例の制定、補正予算など、それぞれ原案どおり決定していただきました。厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者数は、全国的に依然として高い水準が続いています。医療体制の逼迫に対する懸念が深まる中で、政府は今月28日から来年1月11日まで、「G・O・T・ラベル」を全国で一時的に停止することといたしました。

幸い、松本市の感染状況は、切迫した状況ではありませんが、市民の皆様には、これまでの基本的な感染防止策に、より一層の注意を払って取り組み、静かで、落ち着いた年末年始をお過ごしいただくよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

松本市では、松本市医師会、塩筑医師会、長野県臨床検査技師会にご協力をいただき、島内の防災物資ターミナルに開設している「新型コロナウイルス感染症外来・検査センター」で、1月1日を除いて、検査を実施する体制を整えました。年末年始も新型コロナ対策に万全を期していきます。

年が明けて、令和3年1月に予定している、商

都松本の伝統行事「あめ市」、そして「成人式」、
「国宝松本城氷彫フェスティバル」といったイベ
ントは、感染防止策に最大限配慮して、開催する
ための準備を進めています。ただ、今後の感染状
況によっては、見直す判断をせざるを得ない場合
も想定されます。

委員協議会でご報告した、2月からの「come
(calm) to matsumoto キャンペーン」につきま
しても、感染状況、国や県の動向を踏まえながら、
臨機応変に対応していきたいと考えています。

いずれにしましても、今後も引き続き、感染症
対策と社会生活・経済活動の両立を図りながら、
地元経済を再生していくための取組を進めてまい
ります。

次に、地球温暖化対策への取組について申し上
げます。

近年頻発する異常気象は、今や気候危機と言わ
れ、脱炭素社会の実現は世界の喫緊の課題です。
6月に市議会の定例会において全会一致で決議さ
れた「気候非常事態宣言に関する決議」、さらに
9月定例会でのゼロカーボンシティ表明への提案
を踏まえ、年内に松本市として宣言を行うと申し
上げてまいりました。

そこで、建設環境委員協議会でご報告したとお
り、明日18日に、「松本市気候非常事態宣言」
を行い、「2050ゼロカーボンシティ」を目指
すことを表明いたします。

この宣言には、松本に存在する豊かな自然資源が生み出す再生可能エネルギーの活用などを盛り込みます。

宣言を契機に、行政、事業者、市民の皆様が、危機意識を共有し、連携して脱炭素社会を実現するための具体的な取組を積極的に進めていきたいと考えています。市民の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、この一年を振り返りますと、2020年は、世界中の人々が、新型コロナウイルス感染症のパンデミックと対峙し、価値観の転換を余儀なくされる歴史的な一年となりました。

未知なるウイルスの恐怖は、言わば目に見えない災害として、社会全体を大きく揺るがし、人々の暮らしのあり様を根本から変えようとしています。

そうした中で、新型コロナの特徴が徐々に明らかになり、ワクチン接種の実現も見通せる段階へと進んでまいりました。

今もなお、医療の現場で尽力されている皆様を始め、新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、努力を続けられている、全ての皆様に敬意を表し、感謝を申し上げます。

このコロナ禍は、私たちに、新しい日常、新しい価値観を見出すことを促しました。困難を乗り越えていくためには、人と人とのつながり、支え合いが大切であることを、改めて、気づかせてく

れました。

来年は中核市に移行し、新たな総合計画がスタートします。分散型市役所、行政と社会のデジタル化、文化観光の推進、ゼロカーボンシティ、困難な今こそ、松本の未来を見据えて、松本市民の暮らしをより良くする施策を考え、実行して行くことが重要と考えます。

引き続き、職員の先頭に立ち、職員と共に、松本を前へと進めるため、力を尽くしてまいります。議員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本会議や委員会では、様々な角度からご意見、ご提言を、叱咤激励と共に、いただきましました。情報発信のあり方について、考え方の相違点もございしますが、市民の利益を考えるとこの点では、一致していると考えます。ご提言については、今後、十分に研究、検討を行い、できることから着実に取り組んでまいります。

議員の皆様には、時節柄、健康には、くれぐれもご留意をいただき、併せて、よき新年をお迎えになりますよう、ご祈念を申し上げます。

以上、12月定例会の閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。

(以上)